

科目名	地域福祉論			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
現代社会における地域福祉の現状、地域福祉の理念と内容、歴史、地域福祉の概念と範囲などについて理解をすすめるとともに、地域福祉に関する法制度などの社会的サービスシステムについても学習する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
講義への出席を重視する。基本的には講義形式、技術的な資料などは必要に応じて別途配布する。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
① 地域福祉の基本的視点としての理念と概念について理解する。 ② 地域福祉の内容には複雑で多様な問題やニーズのあることを学ぶ。 ③ 地域福祉の取り組みの内容、具体的なサービスを理解する。 ④ 地域福祉の実際の活動の担い手、社会的資源について学ぶ。 ⑤ 地域における問題解決の方法としての地域福祉の役割を把握する。								
回数	講義内容							
1	地域福祉とはなにか							
2	地域社会の現状と地域福祉							
3	地域生活支援							
4	地域福祉援助							
5	地域福祉力の向上							
6	地域福祉の主体と実践							
7	ボランティア等の機能的実践							
8	まとめ							
定期筆記試験								

## 【 準備学習・時間外学習 】

--

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
地域福祉論	川島ゆり子	ミネルヴァ書房

## 【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

定期試験にて評価する。